

# 研究会開催通知

(昭和53年2月15日～3月31日)

研究会	日	時	会場	備考
人工知能と対話技法	2月17日(金)	15:00～17:00	電子技術総合研究所	前号参照
計算機アーキテクチャ	2月22日(水)	9:00～17:00	機械振興会館	下記参照
計算言語学	2月24日(金)	14:00～17:00	同上	前号参照
データベース管理システム	3月9日(木)	14:00～17:00	同上	下記参照
マイクロコンピュータ	3月15日(水)	14:00～17:00	同上	同上
システム性能評価	3月17日(金)	10:00～17:00	京都大学	同上
イメージ・プロセッシング	3月22日(水)	14:00～17:00	早稲田大学	同上

## ◆ 第22回 計算機アーキテクチャ研究会 (主査: 相磯秀夫, 代表幹事: 所真理雄)

日時 昭和53年2月22日(水) 午前9時～午後5時

会場 機械振興会館 6階67号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 都営1号線大門, 都営6号線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 新橋一汐谷線東京タワー, 等々力一東京駅八重洲口線飯倉1丁目下車, Tel. 03(434)8211]

議題

(1) 1レジスタ機械における直列型プログラムのコード最適化

木村春彦, 原尾政輝, 野口正一 (東北大・通研)

[概要] dagへマーク部分列と呼ぶ概念を用いて, 一般のdagの場合も最適コード変換が可能であることを示す.

(2) マイコンを中心とした研究室自動化

山岸一郎, 尾上守夫 (東大・生研)

[概要] マイコンによる研究室自動化(オンラインデータ収集)システムを開発し, 当所の多次元画像処理センターと接続して, 実時間処理を実現した.

(3) 図形処理用複合計算機システムの応用を接続装置について

内田俊一 (電総研), 天野佳之, 樋口哲也 (慶大)

[概要] マイクロプロセッサを用いた計算機接続装置と, その2次元FFTなどへの応用について述べる.

(4) PPS-Rにおける負荷制御効果の評価

村上国男, 高橋直久 (電電・武蔵野通研)

[概要] 実験用機能分散型システム(PPS-R)のプロセッサ系資源における負荷制御効果の評価結果について述べる.

(5) マルチプロセッサシステム MICS-IIによる並列処理

- 大森健児, 小池誠彦, 山崎竹視, 大宮哲夫 (日電)
- 〔概要〕 計算機複合体で負荷分散による並列処理の特徴と特質について例をあげて述べる.
- (6) 並列処理プロセッサ MELPIP-1 の構成と制御方式について  
平山正治, 房岡 暲, 金森 直, 朱雀二郎 (三菱電機)
- 〔概要〕 現在開発中のプロセッサにつき, その複合化構成と,  $\mu$ プログラムの多重化による制御方式について報告する.
- (7) 連想処理プロセッサ ARES 市川忠男 (国際電電)  
坂村 健, 諸隈立志, 山石裕之, 相磯秀夫 (慶大・工)
- 〔概要〕 人工知能・パターン認識用連想プロセッサ ARES の概要について発表する.
- (8) MIMD における Interconnection Network とその制御  
岸 則政, 川上 英, 横山 淳, 石井 繁, 小原啓義 (早大)
- 〔概要〕 大規模 MIMD システム向きの制御が接続要求に対し, 独立で簡単な, 同期時分割型内部接続網に関する考察.
- (9) 拡張性の高いシステムのバス結合方式と制御方式  
山崎 勇, 前田 明, 宮田 操, 神谷茂雄, 笠井 公 (東芝)
- 〔概要〕 通産省大型プロジェクト「パターン情報処理システムの研究開発」の一環として研究中の, ポリプロセッサシステムについて, そのバス結合方式とバスの制御方式について述べる.
- (10) Acknowledging Ethernet System の設計  
田丸喜一郎, 所真理雄 (慶大・工)
- 〔概要〕 安価で信頼性の高いローカル・コンピュータ・ネットワーク, Acknowledging Ethernet, の方式, 性能評価, およびシステム設計について述べる.
- (11)  $\mu$ -パケットネットワークによる主記憶共有型マルチ CPU システム  
ASTRAL-I 松原康夫, 唐沢 博, 米井章憲, 樋川哲也,  
三好光照, 高澤嘉光 (山梨大)
- 〔概要〕 ハードウェアペトリネットによりパケットの伝播を制御し, メモリインタフェースの競合緩和をはかった.
- (12) データベースマシンの一方式  
大久保明伸 (宇部高専), 打波清一, 手塚慶一 (阪大)
- 〔概要〕 情報空間型データ構造を表現・処理するインテリジェントディスクを用いたデータベースマシンの提案と検討を行う.

## ◆ 第 6 回 データベース管理システム研究会

(主査: 穂鷹良介, 代表幹事: 植村俊亮)

- 日 時 昭和 53 年 3 月 9 日 (木) 午後 2 時～5 時
- 会 場 機械振興会館 6 階 65 号室 〔所在地は前記参照〕
- 議 題 (1) 汎関係データベース・モデル—データ・モデル, 関係演算系, スキーマの汎化について 国藤 進, 小林 要 (富士通)

〔概要〕 複数の関係を単一の関係に埋め込む汎関係という関係データベースの新概念モデルについて考察する。

(2) 関係データベーススキーマにおける関数従属関係のブール方程式を用いる取り扱いについて 竹島 卓 (富士通)

〔概要〕 RDB における関数従属関係を命題算としてのブール方程式に対応させて取り扱う方法について考察した。

#### ◆ 第4回 マイクロコンピュータ研究会 (主査: 森 亮一, 代表幹事: 田島守彦)

日 時 昭和 53 年 3 月 15 日 (水) 午後 1 時 30 分～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 [所在地は前記参照]

議 題 (1) ネットワーク志向型オペレーティングシステムのマイクロコンピュータへの適用と評価 齊藤梅朗, 山田耕一, 峯岸厚司 (電通大)

〔概要〕 分散型ネットワークの端末としてマイクロコンピュータの導入は実験研究あるいは数値データベース等の分野から要請されている。報告では電通大におけるネットワーク・プロジェクトの一部として行ったネットワーク志向型オペレーティングシステムのマイクロコンピュータへの適用例と評価について述べる。

(2) YHP 社におけるマイクロコンピュータ応用の現状

鬼頭史郎 (横河ヒューレット・パッカー)

〔概要〕 マイクロコンピュータの電子計測器への応用の現状と問題点を紹介すると同時に今後の展望について述べる。

(3) 沖電気工業(株)におけるマイクロコンピュータ応用の現状と展望

柴田晋吾 (沖電気)

〔概要〕 当社におけるマイクロコンピュータの応用事例を端末装置, 制御装置, 交換・データ通信について述べる。

(4) 各種端末機器へのマイクロコン応用状況 宮崎 孝 (松下通信工業)

〔概要〕 小型専用データ端末を中心に, 自社系列の 16 及び 4 ビット CPU を中心とする応用状況を報告する。

#### ◆ 第17回 システム性能評価研究会 (主査: 石田晴久, 代表幹事: 齊藤梅朗)

日 時 昭和 53 年 3 月 17 日 (金) 午前 10 時～午後 5 時

会 場 京都大学工学部情報工学科会議室

[京都市左京区吉田本町, 市バス: 京都駅西口 3 番乗場にて 200 あるいは 200 甲に乗車京都大学農学部前下車, Tel. 075(751)2111]

議 題 (1) 名古屋大学大型計算機センター主システムの動作解析とその評価

飯田三郎, 吉田雄二 (名大・大型センタ), 福村晃夫 (名大・工)

〔概要〕 共同利用大型計算機システムの動作を種々の装置について動的に観測し, その結果を解析することでシステムのもつ性能, 問題点を明らかにする。

(2) オペレーティング・システムの動的資源管理方式の評価

久保秀士, 土井根敏明, 小野隆喜, 大野直哉 (日電・中研)

〔概要〕 オペレーティング・システムにおいて、タスクの CPU 特性、I/O 特性などにもとづくデスパッチングの動的制御、2次記憶装置からの最適ジョブミックスのスワップインによる動的管理等の方式に関するシミュレーションによる評価結果を述べる。

(3) オンラインシステムの性能評価について

鈴木恭隆, 鶴見良直 (東芝)

〔概要〕 ACOS シリーズ 77 用の総合リアルタイム処理システム (TDS) のユーザーがごく限られた入力パラメータを与えるだけで応答時間、スループットなどの情報が得られるオンラインシステム性能評価シミュレータについて述べる。

(4) 計算機システムの性能評価理論の解説と展望 原田紀夫 (日電)

〔概要〕 計算機システムの性能評価のために広く待ち行列理論が用いられている。ここでは先に報告した性能評価のための新しい理論をなるべく平易な形で解説し、理論に残された課題、応用や他の分野との関連等についての展望について述べる。

見学会 情報工学科の研究・教育設備の見学会を予定。

## ◆ 第17回 イメージ・プロセッシング研究会

(主査: 尾上守夫, 代表幹事: 長尾 真, 白井良明, 高木幹雄)

日時 昭和 53 年 3 月 22 日 (水) 午後 2 時~5 時

会場 早稲田大学理工学部 51 号館 6 階会議室

〔新宿区西大久保 4 の 170, 国電: 高田馬場又は新大久保より徒歩 15 分, Tel. 03(902)3211〕

議題 (1) 漢字ドットパタンの作成処理

森 克己, 中野博隆 (電電・武蔵野通研)

〔概要〕 漢字ドットパターンを計算機を用いて作成する際の不要点の除去, 線幅の規格化, 次数変換, 字体変換処理について述べる。

(2) 画像のサンプリング方式とその画質評価 北尾 聡 (早大・理工)

〔概要〕 画像をサンプリングする際, アパーチャの形状, 大きさとそのサンプリング順序が画質に与える影響を考察する。

(3) 研究室紹介 (早稲田大学理工学部応用物理学科大照研究室)

〔概要〕 当研究室の画像入出力装置とその応用, 眼球運動を伴うパターン認識機構など現在行われているイメージ・プロセッシング関係の研究を紹介する。

## 昭和 53 年度会費納入のお願い

昭和 53 年度会費を請求いたしますので、添付の振替用紙によりご納入ください。

正 会 員 費     7,200 円

学生会員費     3,000 円 (大学院修士課程まで)

申すまでもありませんが、会費は前納を建て前としておりますので、率先してご納入いただきたく存じます。

なお、52 年度会費未納の方で、3 月末までにご納入いただけない場合には、4 月号から会誌の送付をストップいたしますので充分ご注意ください。

(付記) 53 年度新規入会申し込みは 3 月が最良の時期です。入会希望者は定型中封筒 (22cm×11.5 cm) に宛名明記、50 円切手貼付のうえ、入会案内書および入会申込書を学会事務局へご請求ください。



## 第 3 回日米コンピュータ会議

——論文の申込み締切りは 2 月末日——

第 3 回日米コンピュータ会議 (The 3rd USA-Japan Computer Conference) の論文締切りが迫りました。論文発表を希望される方は、前号 (第 19 巻 1 号) 「緑のページ」を参考のうえ、来る 2 月末日までにご提出ください。

なお、とくに下記の点にご留意ください。

- (1) 英文 Full paper は必ず original を含め、計 5 部を提出すること。
- (2) 前号 (第 19 巻 1 号) の案内に添えた「第 3 回日米コンピュータ会議論文申込用紙」により、(i) 関連部門 (ii) 日本語で 300 字程度の論文概要を必ず論文に同封すること。
- (3) 発表論文 (本文、英文 5,000 words 以内) のタイプ用紙は A 4 とし、図表も中に組み込み計算すること。

## 第 19 回全国大会について

昭和 53 年度第 19 回情報処理学会全国大会は、下記により 8 月下旬に開催いたします。次号に講演申込用紙を添付いたしますので、ご注意ください。

記

日 時     昭和 53 年 8 月 22 日 (火)～24 日 (木) の 3 日間  
会 場     東京電機大学 (東京都千代田区神田錦町 2-2)

## 欧文誌 “JIP” の創刊と頒布について

欧文誌 “Journal of Information Processing” (略称 JIP, 季刊, A 4 判, 50 ページ) は本年 3 月に第 1 巻第 1 号を発行することとなりました。

本学会創立の 1960 年以来発行してきました “Information Processing in Japan” は、その前年に学会誌「情報処理」に掲載された論文のなかから、とくに海外発表にふさわしい論文をえらび、各 5~6 ページにまとめ、年 1 回発行してきました。

ところで、最近は、情報科学の急激な発展と応用のドラスティックな展開により、これまでの英文誌のような 2 次文献的な論文発表の方法では、時流に全く合わないことは論をまちません。またこれまでのわが国の傾向としては、優秀な論文は、海外の著名な学会誌を通じて発表し、逆に輸入する形式になるのを常といたしました。戦後 30 年を経た現在、やはり自分たちの力で欧文誌をつくり、「よりよい論文の真価を、できるだけ早く世界に問う」という道標をかかげて、新進気鋭の研究者を育成することは、今や日本の全学会の急務と考えられます。

幸い、本学会は、すでに正会員が 10,000 名をこえ、世界に名を得た優れた会員を多数擁しておりますので、ここに欧文誌の発行に踏み切ったわけです。

つきましては、大きな抱負にいだかれて新しく生れる欧文誌をはぐくみ育てる意味で、積極的な論文の投稿のみならず、進んで購入登録くださいますようお願い申し上げます。

### 1. 購入申込み方法

- 本会会員 3,000 円, 非会員 (国内) 6,000 円, 海外一般 7,000 円 (いずれも年額)
- 裏面「欧文誌 “JIP” 購入申込書」により、送金方法など必要事項を明記のうえ、「情報処理学会欧文誌係」宛お申し込みください。(頒価 @ 1,800 円)

### 2. Journal of Information Processing, Vol. 1 (1978), No. 1 の目次

- 創刊の辞  
会長あいさつ..... Mamoru Hosaka  
編集委員会あいさつ..... Toshio Kitagawa, Yutaka Ohno
- Planning for information oriented society in Japan ..... Hiroshi Inose
- Analysis of memory management strategies for  
multiprogrammed virtual systems ..... Takashi Masuda
- Analysis of parallel hashing algorithms with key deletion... Tetsuo Ida, Eiichi Goto
- On teaching the art of compromising in the development of  
external specifications..... Izumi Kimura
- A scheme to execute the dynamic linker as  
a non-privileged procedure..... Katsuo Ikeda
- A gate placement algorithm for one-dimensional arrays  
..... Tetsuo Asano, Kokichi Tanaka
- Abstracts from “Joho-shori”
- Events in Japan

昭和 年 月 日

## 欧文誌“JIP”購入申込書

欧文誌“Journal of Information Processing”の購読を下記により申し込みます。(該当欄を○印でかこむ)

1. 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

発送先 \_\_\_\_\_

2. 購入希望

- a. 会 員 3,000 円
- b. 非 会 員 6,000 円
- c. 海外一般 7,000 円

3. 送金の方法

¥ \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。

- a. 現金書留
- b. 郵便振替
- c. 銀 行 (三菱, 第一勧業, 住友の各虎ノ門支店, 三井日比谷支店  
情報処理学会普通預金口座)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)